

アルミ合金製 CSD-LS型作業台

組立説明書

このたびはCSD-LS型作業台をお買い上げいただきましてありがとうございます。この手すりセットを安全に使っていただくために、注意事項をよくお読みいただき手順に従って組み立ててください。

※組立て前に、部品数量を確認してください。 **必要工具** M6用スパナ・M8用スパナ×2

危険 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

●設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 組み立てる時はボルトを確実に固定してください。
- 使用前にはボルトのゆるみや抜け落ちを確認し、ある場合は締め直してください。
- 使用前に必ず点検し、異常のない事を確認してください。
- 手すりから身体を乗り出さないでください。
- 手すりへ寄りかかったり、足をのせたりしないでください。
- 手すりを押ししたり、引いたりしないでください。
- 適応機種以外に取り付けて使用しないでください。
- 加工・改造をしないでください。
- CSD-LSの取扱説明書もあわせてお読みください。
- 必ず手すりを付けて使用してください。

注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 使用に適した服装で使用してください。
- 雨や直射日光があたらない場所に保管してください。

アルインコ株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 ☎ 0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※この組立説明書の無断転用を禁じます。
 ※万一不慮、落丁がございましたら、お取り替えいたします。
 ※住宅機器事業部の製品は日本での販売を目的として開発・製造・販売（仕入れ品含む）しております。
 他国に輸出される場合は弊社までご相談ください。

2021061-HR

部品表

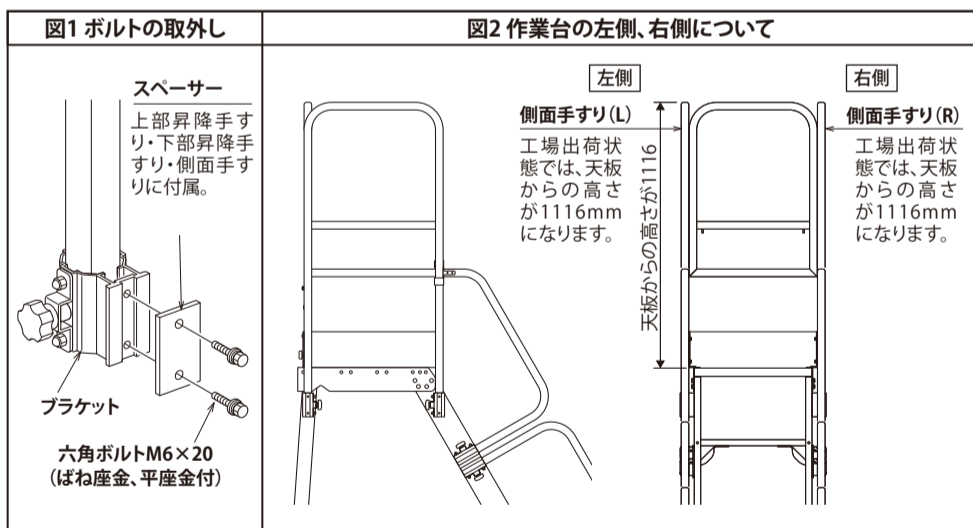
部品名称	品番	部品図	部品数量
昇降面組立	—		1
背面組立	—		1
ベース中折れツナギ	—		1
下部中折れツナギ	—		1
上部中折れツナギ	—		1
上部昇降手すり(L)	CSDKT1L		1
上部昇降手すり(R)	CSDKT1R		1
下部昇降手すり(小)	CSDKT2S		240,330 300 270,360 — 2 4
下部昇降手すり(大)	CSDKT2L		270 240,300,360 330 — 2 4
側面手すり(L)	CSDYTLH		1
側面手すり(R)	CSDYTRH		1
背面手すり	CSDHT		1
背面幅木	CSDHB		1
六角ボルト M8×25	—		40
ゆるみ止めナット M8	—		24
ばね座金 M8	—		16
平座金 M8	—		64

※1 上部昇降手すり(L)、(R)、下部昇降手すり(小)、(大)、側面手すり(L)、(R)に取り付けてあるブラケットには工場出荷時に六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)が取り付けられています。下記の手順に従って、取り外して使用してください。
 ※2 側面手すり(L)、(R)は作業台の天板からの高さ1116mm、916mmと、どちらかをお選びいただけますが、出荷時には1116mmになるようブラケットが取り付けられています。916mmにする場合は下記の手順に従って変更してください。
 ※3 本製品にはゆるみ止めナットを使用しています。締める際には少々固く感じますがそのまま締め切ってください。

作業台本体取付けの準備について

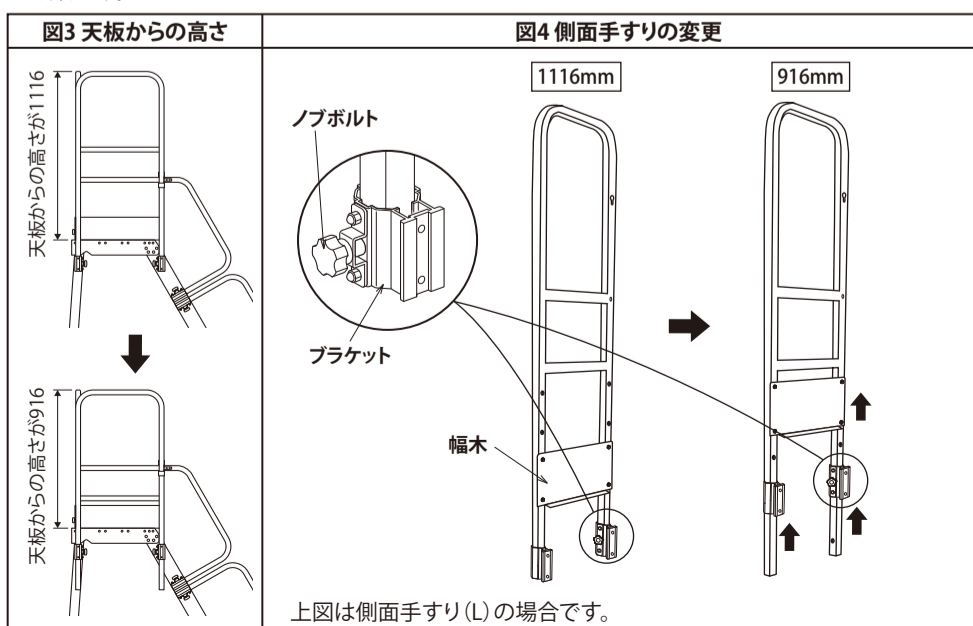
①ボルトの取外しについて(ブラケット付きの部品について 図1)

ブラケットから、六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)を取り外してください。作業台本体への取り付けにはこのボルトを使用します。なお、上部昇降手すり・下部昇降手すり・側面手すりの各ブラケットにはスペーサーを付属しております。同じく本体取り付けに使用しますのでご注意ください。



②側面手すり(L)、(R)の天板からの高さを、1116mmから916mmにするときについて

側面手すりはブラケットと幅木を取り外し、下図のように上に移動させて取り付けてください。ブラケットはノブボルトを回すと外れます。

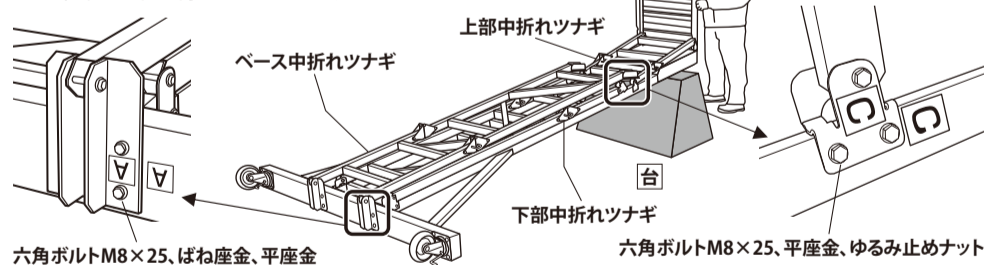


組立説明書

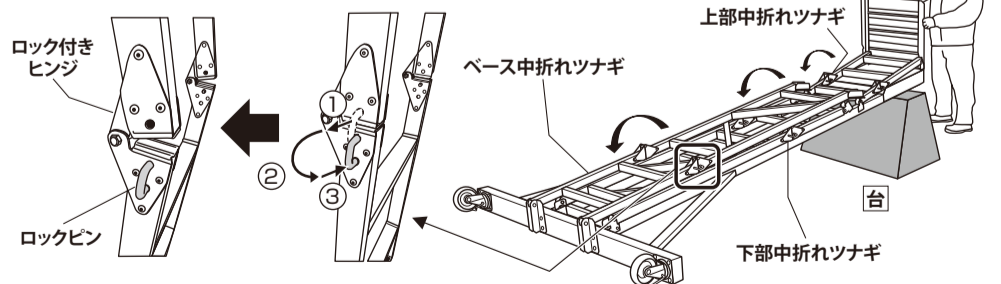
※必ず3人以上で行ってください。

1. 「キャスターのロック忘れ注意ラベル」が下面になるように、背面上部を台の上に置いてください。次に作業者aは天板を開いて持ち支えてください。

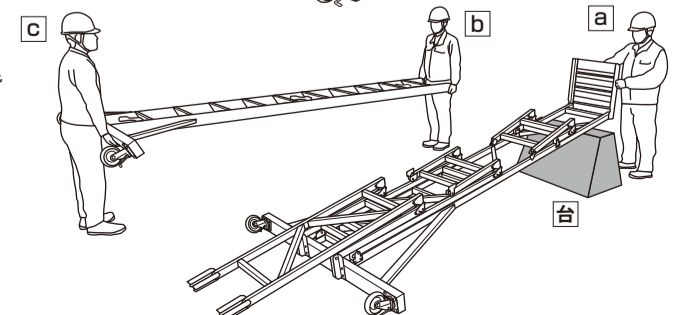
2. ベース中折れツナギを六角ボルトM8×25、ばね座金、平座金で取り付けください。次に下部中折れツナギ、上部中折れツナギを背面へ六角ボルトM8×25、平座金、ゆるみ止めナットで取り付けください。その際、それぞれの折れツナギと背面支柱にA、B、Cのラベルが貼付してありますので、同じ文字の位置に取り付けてください。



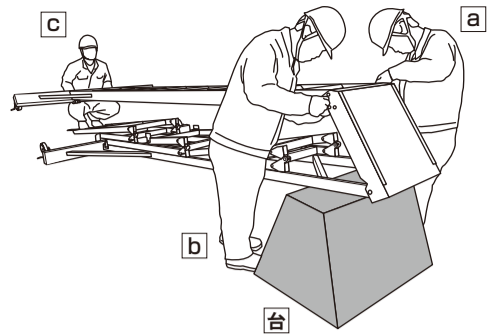
3. ベース中折れツナギ、下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に、ロックピンを①引き抜き②回転③差込の順に操作し、ロック付ヒンジを折り曲げてください。



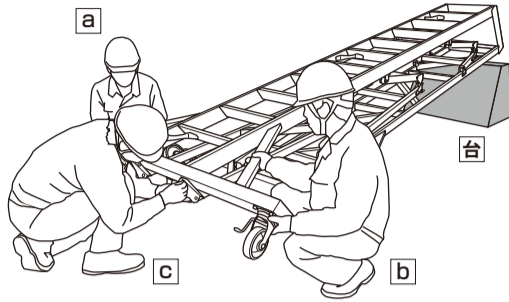
4. 作業者bcは昇降面を背面の上に置いてください。



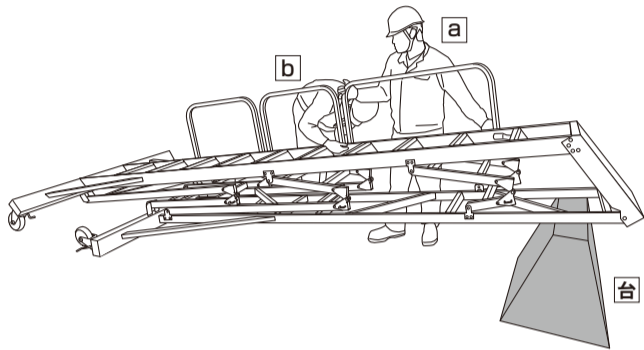
5. 作業員 c が昇降面ベースを持ち上げ、作業員 a b は昇降面を持ち支えながら支柱と天板を六角ボルト M8×25、平座金、ゆるみ止めナットで取り付けてください。



6. 作業員 a b が左右の昇降面支柱を持ち支えてください。作業員 c がベース中折れツナギを昇降側ベースへ六角ボルト M8×25、ばね座金、平座金で取り付けてください。続いて、作業員 c が昇降面ベースを持ち支え、作業員 a b が下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に六角ボルト M8×25、平座金、ゆるみ止めナットで昇降面支柱へ取り付けてください。



7. 作業員 a は下部昇降手すりを持ち支え、作業員 b が六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付) で昇降面の支柱へ手すりブラケットを取り付けてください。下部昇降手すり(大)、(小)を両方使用する場合は、(小)が下側になるように取り付けてください。

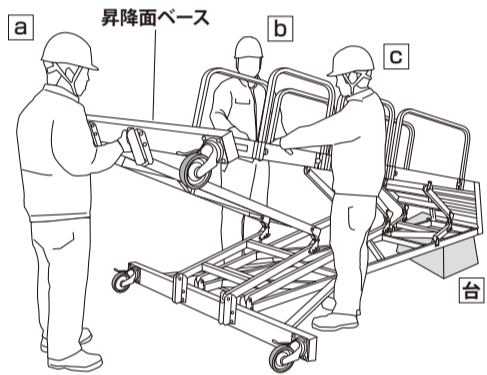


支柱とブラケットの間のスペーサーの入れ忘れに注意してください。

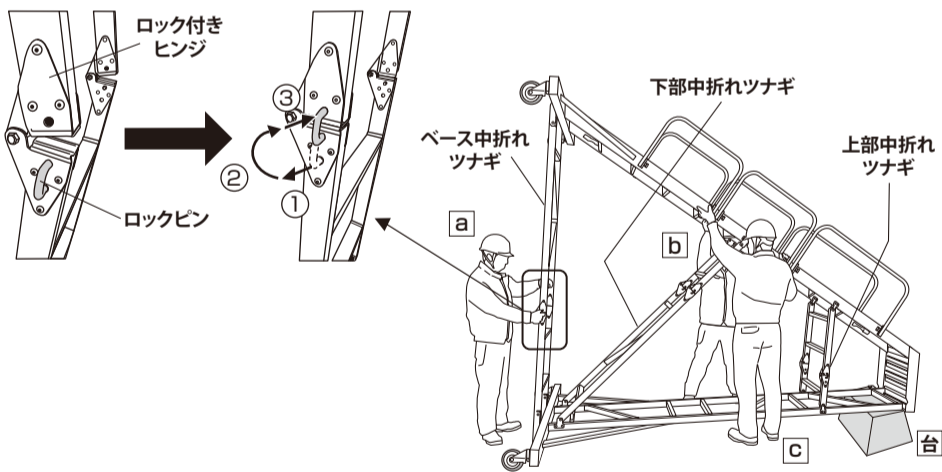
六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)

支柱 スペーサー ブラケット

8. 作業員 a が昇降面ベースを持ち上げ、作業員 b c が昇降面の支柱をそれぞれ持ち上げます。



9. 作業員 b c が中折れツナギが直線になるまでさらに支柱を持ち上げます。作業員 a はベース中折れツナギ、下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に、ロックピンを①引き抜き②回転③差し込みの順に操作し、ロック付ヒンジを固定してください。



10. 下図を参照し側面手すり(L)、(R)を取り付けてください。側面手すり(L)、(R)を取り付けたあとに、上部昇降手すり(L)、(R)を取り付けます。側面手すりの天板からの高さによって、上部昇降手すりの取り付け位置が変わります。(説明の為、作業台が起きている絵となっていますが、ここまでの流れのとおり寝かした状態で取り付けてください。)

1116mm 916mm

側面手すり 側面手すり

下側の棧 上側の棧

上部昇降手すり 上部昇降手すり

ブラケット ブラケット

(L)側 (R)側

上部昇降手すりのフックを側面手すりの棧の位置にかける

上部昇降手すりのフックを側面手すりの棧の位置にかける

支柱とブラケットの間のスペーサーの入れ忘れに注意してください。

六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)

支柱 スペーサー ブラケット

11. 下図を参照し、背面手すりと背面幅木を取り付けてください。(説明の為、作業台が起きている絵となっていますが、ここまでの流れのとおり寝かした状態で取り付けてください。)

背面手すりについて

操作レバーを内側に引くと先端部が引っ込む

操作レバー

引く

△警告ラベル (ラベルナンバー:C-2-0)

背面幅木の取付方法

① 背面幅木のかぎ穴を側面手すり背面のピンに挿入し、下にスライドさせます。

背面幅木 ピン スライド 側面手すり

② 側面手すり背面幅木をノブボルトでしっかり固定して完成です。

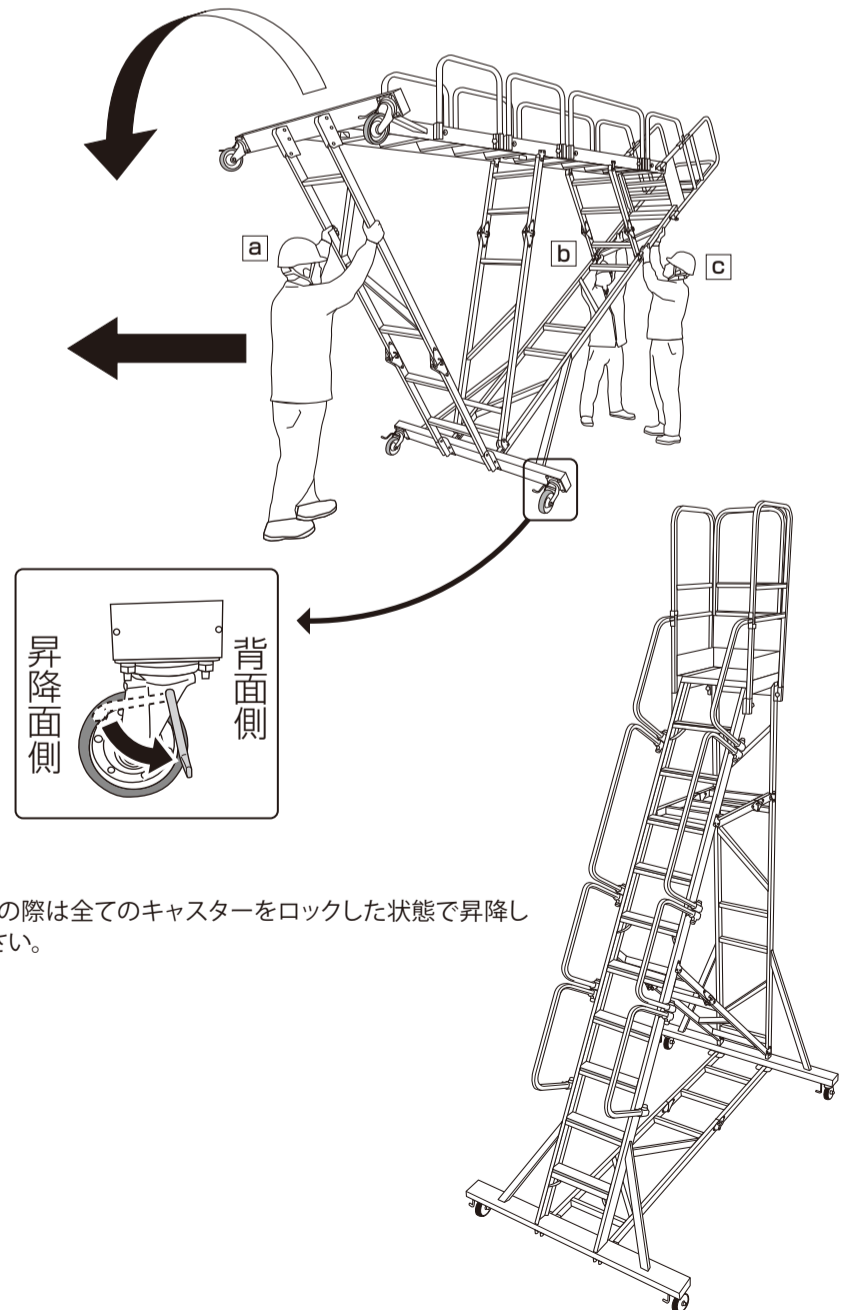
背面幅木 締める ノブボルト M6×20

背面手すりの取付け

① 側面手すりのかぎ穴に、背面手すりのピンのまっ一方を挿入し、もう一方は挿入する側面手すりを、手で少し外側に押し広げながら、挿入します。両方挿入後、かぎ穴の下側にピンがかかるように背面手すりを引き下げます。

② この位置で背面手すりの二つの操作レバーを同時に内側に引きながら、ピンを軸として回転させ、操作レバー先端部が側面手すりの穴に挿入できれば完成となります。

12. 全てのキャスターのロックをかけてください。(自在キャスターの向きは下図を参照してください。) 作業員 b c が左右の背面支柱をそれぞれ持ち上げて作業台をおこし、作業員 a はベース中折れツナギを持ち支えながら後ろへ下がり、ベース中折れツナギから昇降面ベースへ持ち替えて、ゆっくりと昇降面側のキャスターを着地させてください。



13. ご使用の際は全てのキャスターをロックした状態で昇降してください。